

# ロマンティック・Jブラームス(9) 若手演奏家支援シリーズ

## ブラームス<珠玉の室内楽作品>

### 弦楽四重奏曲 No.3 と2つの弦楽五重奏曲

- プレトーク / ブラームスの弦楽四重奏曲と弦楽五重奏曲
- ブラームス / 弦楽四重奏曲 第3番 変ロ長調 Op.67  
Vn 土岐 祐奈(桐朋学園大学2年) Vn 桐原 宗生(同大学4年)  
Va 鈴木 慧悟(同大学1年) Vc 笹沼 樹(同大学SD2年)
- ブラームス / 弦楽五重奏曲 第1番 へ長調 Op.88
- ブラームス / 弦楽五重奏曲 第2番 ト長調 Op.111  
Vn 加藤 知子(ゲスト 桐朋学園大学教授)  
Vn 栗田 智子(JBS会員 ロイヤルコンサートヘボウ管弦楽団員)  
Va 磯村 和英(ゲスト 東京クワルテット1969-2013)  
Va 梅津 美葉(ゲスト 桐朋学園大学講師、洗足学園音楽大学講師)  
Vc 林 峰男(JBS音楽監督 国際ｽｷﾞｷﾞｰﾄﾞ音楽院教授)

監修/プレトーク 西原 稔 (JBS顧問 桐朋学園大学教授)



加藤知子

©Yamauchi Yoko



栗田智子



磯村和英



梅津美葉



林峰男

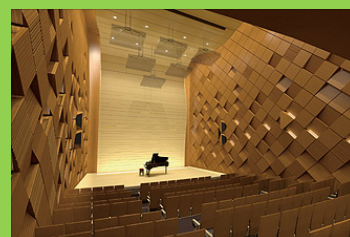


西原稔

# 2014年12月7日(日) 2pm

会場 ヤマハ銀座店(7丁目) ヤマハホール 333席  
チケット 全自由 一般¥6000 学生¥3000 (JBS会員のみ)

後援 ハンブルク国際ブラームス協会、アメリカブラームス協会  
チケット 東京文化会館チケットサービス Tel 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp>  
なお工事休館中(6月~11月末)は窓口での販売はございません。  
Tel またはインターネットをご利用ください。  
お問合せ 日本ブラームス協会 (JBS)  
Tel/Fax 03-3990-0611 eメール [jbs1973@jcom.home.ne.jp](mailto:jbs1973@jcom.home.ne.jp)  
HP <http://www3.ocn.ne.jp/~jbs>



- Vn 土岐祐奈 (とき ゆうな) 桐朋学園大学2年 2013年 日本音楽コンクール 第3位
- Vn 桐原宗生 (きりはら そうき) 同大学4年 2010年 全日本学生音楽コンクール 高校の部全国大会2位
- Va 鈴木慧悟 (すずき けいご) 同大学1年 2011年 霧島国際音楽祭賞受賞
- Vc 笹沼樹 (ささぬま たつき) 同大学SD2年 2011年 全日本学生音楽コンクール 高校の部全国大会1位

●Vn 加藤知子 (かとう ともこ) ゲスト

4歳よりヴァイオリンをはじめ、三瓶詠子、故久保田良作、江藤俊哉の各氏に師事。第47回日本音楽コンクール・ヴァイオリン部門第1位、レウカディア賞受賞。翌年の海外派遣コンクールで特別賞受賞。1980年桐朋学園大学卒業。同8月、タングルウッド音楽祭に(アメリカ)参加、メイヤー賞受賞。ローレンス・レッサーに師事。アスペン音楽祭、マールボーロ音楽祭に出演、ルドルフ・ゼルキンらの指導を受ける。1981年9月から文化庁派遣研修員として2年間、ジュリアード音楽院に留学。1982年第7回チャイコフスキー国際コンクール第2位受賞。1983年帰国。以来国内はもとよりアメリカ、ヨーロッパ、南米、韓国、中国、モスクワなど各地でオーケストラとの共演やリサイタル・ツアーを行う。NHK-TV、FM番組にも出演。ソロ活動のほかには室内楽、リリア・アンサンブルの中核として活躍。ATMアンサンブルなどの室内楽も恒常的に行っている。アルゲリッチ、マイスキーらとの共演も高く評価された。1995年サントリーホール大ホールでのリサイタルは、「持ち前の美音と大らかな音楽的解釈で、客席を埋め尽くした聴衆にヴァイオリンを聴く喜びを伝えることに成功した」とまた、1996年クリヴィヌ指揮リヨン管弦楽団との共演は「特にスケルツォやアンダンテ楽章での熱い情感を込めた歌は、聴き応え充分であった。」と絶賛された。リサイタル、オーケストラとの共演のほか、内外の音楽祭に参加するなど活躍している。現在、桐朋学園大学で後進の指導にもあたっている。JBSでは1998年冬、2003年冬、2007年春、2010年冬の各例会に出演している。

●Vn 栗田智子 (くりた ともこ) JBS海外会員

東京芸術大学音楽学部附属高校を経て同大学器楽科を卒業。この間、中島美子、篠崎永育、天満敦子、景山誠治、ペラ・カトナの各氏に師事。1990年オランダアムステルダム音楽院(旧スウェーリンク音楽院)に留学。ヘルマン・クレッパース氏に師事し、1993年同音楽院のソリストディプロマを取得。同年オランダ放送フィルハーモニー管弦楽団に入団。現在はオランダのロイヤルコンセルトヘボウ管弦楽団の第一バイオリン奏者。JBSでは学生会員～海外会員として1988年～2001年在籍して1988年の冬の演奏会に出演している。2014年～JBS海外会員。

●Va 磯村和英 (いそむら かずひで) ゲスト

桐朋学園でジャンヌ・イスナール、小林健次、齋藤秀雄各氏に学び、1968年よりジュリアード音楽院においてイヴァン・ガリアン、ウォルター・トランブラー、ロバート・マン、ラファエル・ヒリヤー各氏に学ぶ。69年の秋に東京クワルテットを結成。70年にニューヨークのヤングアーティスト・インターナショナル・オーディションに合格。ミュンヘン国際コンクール弦楽四重奏部門で一位を受賞後、クワルテットと共に44年にわたり、ニューヨークを拠点に世界各地で演奏活動を続けた。東京クワルテットがレコーディングしたレパートリーは幅広く、数多くの受賞を重ね、グラミー賞には7回ノミネートされた。また個人としても、ヴィオラソロとソナタのCDをリリースしている。後進の指導にも長年積極的に取り組み、現在はイエール大学とマンハッタン音楽院で室内楽とヴィオラの指導を行いながら、各地で演奏や指導活動を行う。

●Va 梅津美葉 (うめづ みよう) ゲスト

高校在学中、第60回日本音楽コンクール第1位。鎌倉市政功賞受賞。桐朋学園大学在学中に渡仏、パリ・エコールノルマル音楽院最上級演奏家課程(大学院)を異例の短期間で、審査員全員一致の最優秀賞及び特別賞を得て卒業。国内外のオーケストラと共演、各地でリサイタルの他、5枚のCDをリリース。各紙誌で特選盤の栄誉を得る。アンサンブルの主宰や音と絵と朗読による子どもたちへのコンサートなど、独自の企画も行う。桐朋学園大学、洗足学園音楽大学、桐朋学園大学子供のための音楽教室講師、各種コンクール審査員も務める。JBSでは2004年の春例会に出演している。

●Vc 林峰男 (はやし みねお) JBS音楽監督

東京芸大付属高校、桐朋学園を経てジュネーブ音楽院を首席で卒業。齋藤秀雄氏に師事する。ベルギー国際コンクールで1位。ロザンヌを本拠にしながら、ヨーロッパ、アメリカ、日本で演奏会を開く。この間モントルー音楽院、ロザンヌ音楽院の教授を歴任。1995年のデビュー20周年演奏会をガルスホルで4日間連続開催し、P園田高弘氏と共演するなど高く評価された。また2005年デビュー30周年演奏会はVn加藤知子氏、P伊藤恵氏と「ショスタコーヴィチ没後30周年記念演奏会」を各地で開催しNHK-BSで放映される。JBSでは音楽監督として1995年より「室内楽シリーズ」で若手育成のため積極的に共演し、1997年ブラーム没後100周年記念を東京文化会館で、1998年協会25周年記念をVa深井碩章氏、Vn加藤知子氏、P伊藤恵氏ほかと津田ホールで、2003年の協会30周年記念は大阪フェニックスホール、東京第一生命ホールと初の東西公演にも貢献する。現在国際スキット音楽院教授として後進の指導にもあたっている。

●プレトーク 西原稔 (にしはら みのる) JBS顧問

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授。19世紀音楽と音楽社会史を専門とする。著書は「音楽の社会史」(音楽の友社)、「聖なるイメージの音楽」(音楽の友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「<楽聖>ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「音楽史ほんとうの話」(音楽の友社)、「ブラームス」(音楽の友社)。その他翻訳、監修など。ブラームス研究と並んで、シューマンのピアノ作品の成立史の研究成果が「シューマン 全ピアノ作品の研究」上下として2013年音楽の友社より出版され、2014年第26回ミュージック・ペンクラブ音楽賞をクラシックの研究・評論部門で受賞する。日本ブラームス協会(JBS)では顧問として企画運営のアドバイスをするとともに「レクチャー&コンサート」を担当して、その成果を年会誌『赤いはりねずみ』に発表している。